

流量

圧力差

$\Delta A = 47 \text{ cm}^2$
 $n = 1.55$
 $Q_{\text{計}} = 68.1 \text{ m}^3/\text{h}$
 $C = 0.4 \text{ cm}^2/\text{m}^2$
 $S = 106.15 \text{ m}^2$

グラフ: ゼロボタン
印刷: スタートボタン
終了: 停止ボタン

測定モード

自動 手動

減圧法 加圧

ゼロ/確認

送風機調整

50



住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	株式会社ライクスホーム	電話	048-235-8809
	住所	埼玉県川口市芝6306-3		

測定対象建物の概要

建物の名称	八重樫清史様邸		
所在地	埼玉県川口市芝6306-3		
竣工年月日			
構造及び工法	軸組工法		
建物の規模	地階床面積	- m ²	
	1階床面積	6.9 m ²	
	2階床面積	31.75 m ²	
	3階床面積	31.75 m ²	
	延べ床面積	70.4 m ² (A)	
開口部の仕様	窓	その他(複層ガラスサッシ)	
	玄関戸	外開き戸	
主な部位の気密層の仕様	ウレタン吹付断熱		
建物概要図	別紙添付図面の通り		
通気量を測定した位置	添付平面図に示す		

測定時の建物条件

	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	なし	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	○	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	○	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉または目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	なし	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	○	
測定対象外にした部分(空間)の名称		なし		
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積		- m ² (B)		
吹抜け・床下・小屋裏などの測定対象の相当床面積		35.75 m ² (C)		
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S = 106.15 m ² S = (A) - (B) + (C)		
測定対象とした建物の外皮内容積		V _t = 275.99 m ³ (漏気回数を求めるときに記入すること)		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること

住宅の気密性能試験結果(2)

八重樫清史様邸

測定者・測定方法・測定装置							
事業所	株式会社ヤマダホームズ	事業所登録番号	1983	測定者	児嶋哲哉	登録番号	7890-20
所在地	埼玉県越谷市七左町4-163-1				電話番号	048-990-7373	
測定方法	JIS A 2201 (送風機による住宅等の気密性能試験方法)による (減圧法) 流量および圧力差の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った						
測定装置	コーナー札幌株式会社 KNS-5000C(製造番号10-5017)						

試験日時	2024年5月1日 10時55分						
測定時の環境	天候	雨			風速	m/s (参考)	
	室内温度	24.0 °C			風向	(参考)	
	外気温度	17.7 °C			風速測定位置	(参考)	
					気圧	hPa (参考)	

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: ΔP (Pa)	20.7	27.5	33.9	41.4	51.2					
通気量: Q (m ³ /h)	109	130	159	168	197					

隙間特性値: n ($1 \leq n \leq 2$)	1.51
通気率($\Delta P=1$ Pa時の通気量): a	14.7 m ³ /h \cdot Pa ^{1/n}
$\Delta P=9.8$ Paにおける通気量: $Q_{9.8}$	66.6 m ³ /h
係数: b	0.691
総相当隙間面積: αA (cm ²)	46 cm ²
相当隙間面積: C(cm²/m²)	0.4 cm²/m²
参考:50Pa時の漏気回数(ACH)	0.7 回/h ($\Delta P=50$ Pa時の通気量 196m ³ /h)

